

~~~~多摩川を歩く⑧~~~~

日時:2018年5月27日(日) 天候:晴れ時々曇り 19000歩 約11km

集合:青梅線奥多摩駅 10時30分

コース:奥多摩駅→むかし道入り口→槐木休憩所→不動の上滝→惣岳の不動尊→しだら吊橋→道所吊橋→西久保切り返し→浅間神社→青目不動尊→水根→奥多摩湖・水と緑のふれあい館(バス)→奥多摩駅(解散)

参加者:熊坂(L) 勅使河原(SL) 平石 大平 高橋文 伊藤真 青松秀 佐藤繁 齊藤 小林 河野 清水正 長井 宮野 小島 落合 栗田 市村 高橋紀 中村ゆ 丹後 平吹 志村 山田 畠 計25名

奥多摩駅の位置は、日原川が多摩川に注ぐ合流点の段丘上にありますが、この駅はかつて氷川駅と呼ばれていて、昭和46年に奥多摩駅に改称されました。そういえば、中学生の頃に来た時には確かに氷川駅でした！近くにある奥多摩工業の曳索線では、今でも氷川駅という名称が使われていますが、都内では最西端の駅で、都内のJRでは標高が最も高い駅です。今回歩く「奥多摩むかし道」は旧青梅街道と呼ばれていた道で、甲州裏街道でもあり甲州街道よりも8kmほど近道だったそうです。駅を出て昭和橋袂でストレッチの後、「むかし道標識」から木炭運びの人馬が苦勞したという羽黒坂からスタートします。コース上には奥多摩町が設置した案内板やトイレが完備し、地元も観光コースとして力を入れているのが分かります。歩いていると遙か下には多摩川の流れも見え、緑の山々を縫うように青梅街道が伸び、この道が街道に沿っているのが実感できます。また通過する山肌の小集落には廃屋が目立ち、山間部での生活の厳しさが伝わります。この日は風もなく蒸し暑く、リーダーからは各所で水分補給の声が掛かります。途中には小さな滝も点在、傍を通るだけで辺りを覆う冷気に包まれ気持ちの良いコースが続きますが、崖崩れか道に石が転がっている場所もあり注意が必要。多摩川に架かる二本の吊り橋は水面からはかなり高く、おまけに定員3人ほどで上下左右に揺れ、苦手な私には寿命の縮まる思いでした！「西久保の切り返し」からは本日一番の急坂となり、列も伸び気味で息が上がります。木々の間から奥多摩湖が見えた時にはほっと一息、急坂を下り湖畔の「水と緑のふれあい館」に着いた時には皆さんトイレに直行！湖畔で記念写真を撮り、ここ始発のバスで奥多摩駅に向かいました。こんな鬱蒼とした山中の細道を、か弱い(?)女一人で下見をした熊坂Lには脱帽です！

<フォトレポート 小島>



<奥多摩湖をバックに小河内ダム建設の歴史パネルが並ぶ湖畔広場で全員集合>



奥多摩駅。写ってはいませんが結構な人出です。



横の広場でストレッチの予定もイベントで使えず。



暫くはここで後続を待ちます。(朝から楽しそうな人が)



前回渡った多摩川を跨ぐ昭和橋を渡ります。



橋の袂で熊坂Lのストレッチから。



熊注意！(すでに“出沒”していますが・・・)



リーダーから本日のコース説明。でも・・・



(Lは駅にバッグを忘れた！これナイショの話)



むかし道の詳しい案内板が設置されています。



ここで遅刻の3人が合流。それは誰？



ここからむかし道に入ります。



早速上り坂が・・・羽黒坂。



ここは何だったか・・・忘れた！



昔はこの坂を人馬が木炭を運んだそうです。キツイ！



この山、ピラミッドのようで・・・まさか人工物？



←眼下に線路の跡が・・・「水根貨物線」
※「水根貨物線」は小河内ダム建設のためのセメントや川砂、建設資材を運ぶ目的で建設された東京都水道局の専用線。正式名称は「東京都水道局小河内線」と呼ばれ、路線距離6.7キロ。23の隧道や橋梁で氷川駅（現在の奥多摩駅）とダム建設サイトの水根駅を繋いだ。運行期間は昭和27年（1952）の鉄路開通から昭和32年（1957）の小河内ダム竣工までの5年間だけ使用された。ダム竣工後は西武鉄道へ譲渡され、さらに奥多摩工業へ譲渡され、現在は「水根貨物線」として遺構が残っている。

（Webサイトより抜粋）



そろそろ休憩が欲しい頃。



ここは槐木（さいかちぎ）休憩所。



横には槐の巨樹が。



道端には水場が。飲用はどうか？



舗装道路も車の通行は殆どない山間部。



集落の開けた場所に出ました。ただ人気はなし！



階段には手摺がついている・・・生活道路？



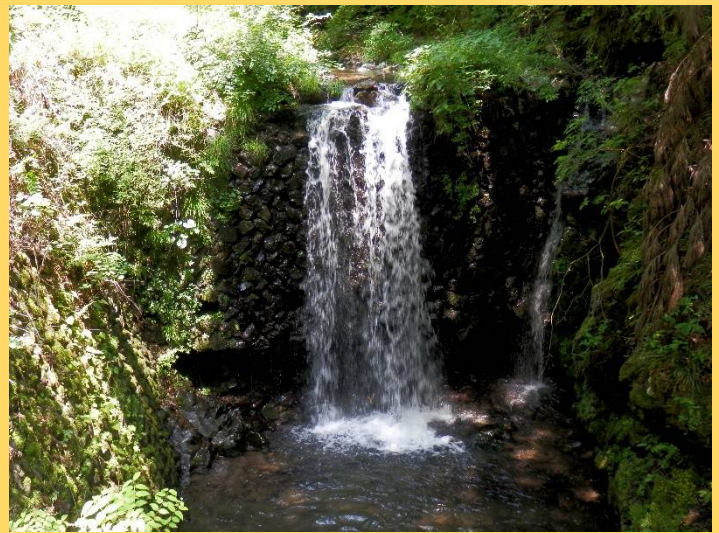
ここからまた急階段の下りに。足元注意ですよ～。



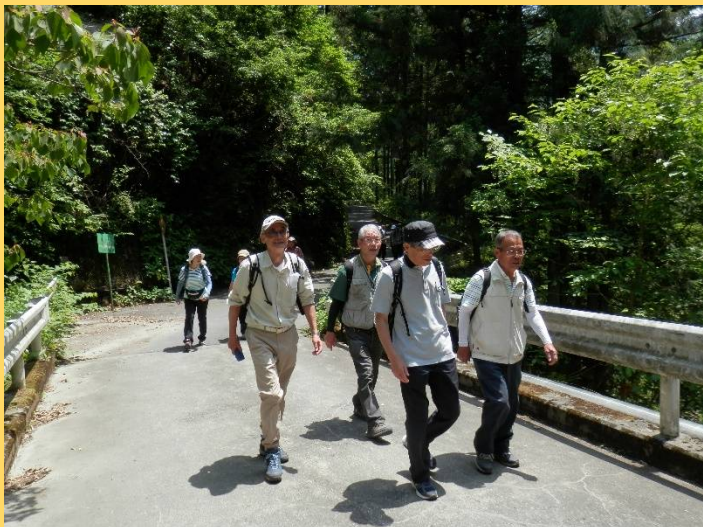
下って水分補給。陽射しが強くなってきました。



日陰を選んで歩きたいが照らされるのみ。



滝がありました。涼しい冷気にオゾンも一杯！



昼近くなり足取りが重くなってきたようです。



不動の上滝の傍でランチタイム。ただ日陰は少ない。



小さい滝でした！



皆さんジベタリアン？（ここしかなかった）



ランチを終え、さあ出発しますよ～



こんな斜面にも畑が。転がり落ちそう！



集落の頭上を渡る旧小河内線跡の鉄橋。



弁慶の腕ぬき岩。(ここに来たの?)



医者のいない時代の民間信仰・・・耳神様。穴のあいた小石を供えた。



いろは楓。秋はカーブミラーの中も紅葉しそう！



昔の人々は季節の移ろいに心を癒したのでしょうか。



何に使うのか路傍の小屋にはカットされた木材も。



惣岳の不動尊。山間部には様々な信仰が存在します。



水分補給の小休止。ゴールまではまだ距離が。



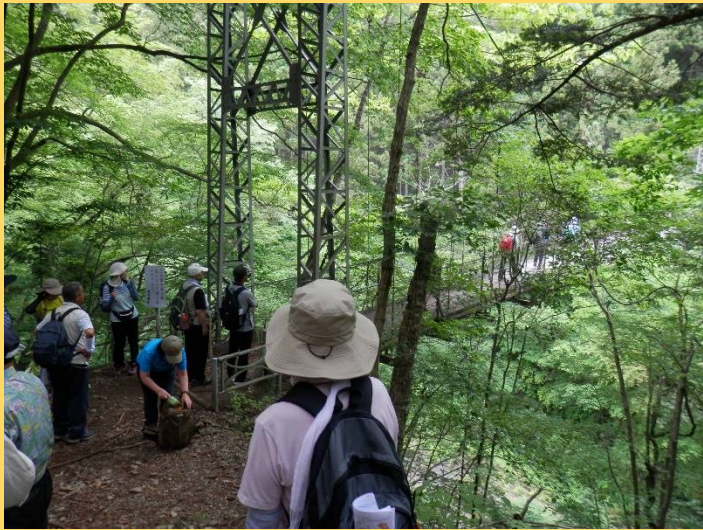
水溜りでは蝶も水分補給中？(近づいても逃げない)



多摩川に架かる定員3人の「しだくら吊橋」



私以外にも吊り橋が苦手な人がいた！（名は伏せます）



定員5人の「道所吊橋」。ここもかなりの高さあり。



こちらの方が揺れも少ないような・・・でも余裕なし！



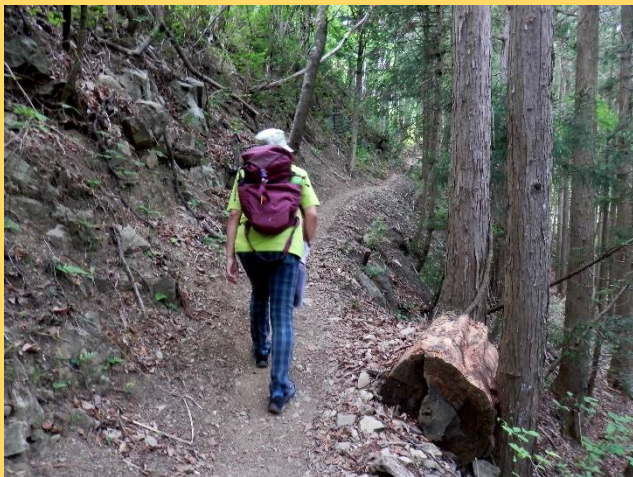
右側の崖、今にも崩れてきそう。



ここからは右側の登坂路です。



少しはゴールに近づいたか。



しはこんな道を一人で下見。鹿を見たそう。



その鹿除けの電気柵。昼間は通電なしでしょうね。



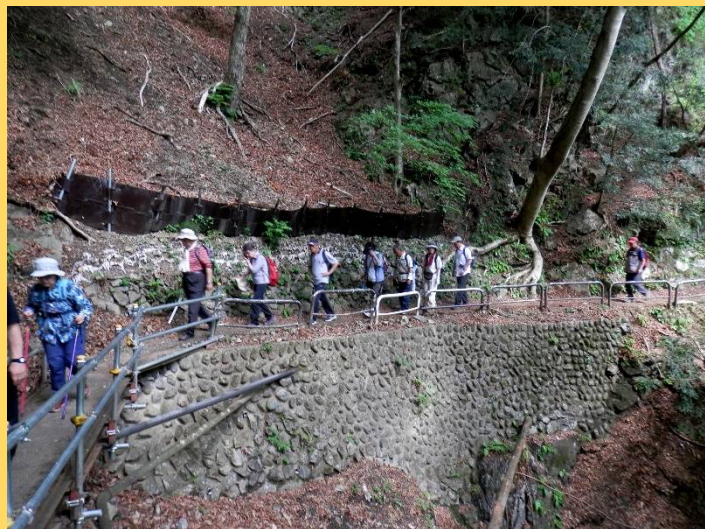
「西久保の折り返し」案内板。



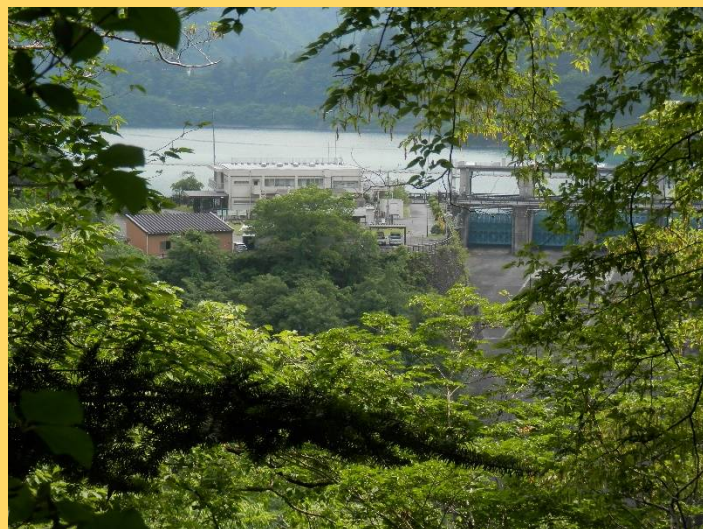
さあ、ここから本日一番の難所。



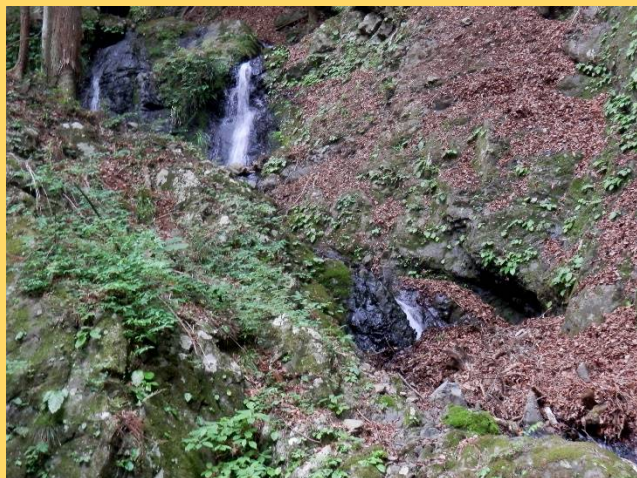
急な上り坂が延々と続きます！



左側は谷底、右は今にも落石がありそうな崖。



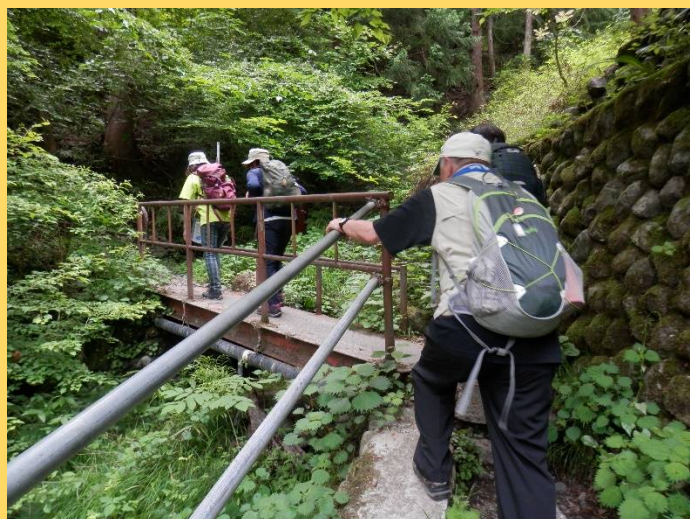
木々の間から小河内ダムが見えてきました。



時々現れる滝の冷気で一瞬汗が引きます。



そうは言ってもまたまた急坂で汗が・・・



鉄板の小橋で小溪谷を渡ります。



崖崩れの跡か道には石が。ここで滑ると谷底へ・・・



眼下には奥多摩湖が見えて来ました。



水根観音。難所を抜けて皆さん手を合わせていました。



集落の斜面には花々も。この道は結構滑ります。



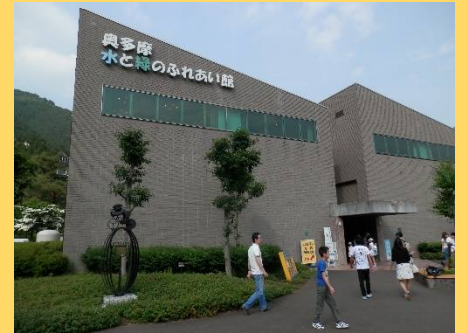
車道に出てあとは下るだけ。リーダーは花の写真を。



青梅街道に下りて来ました。



右の階段を上れば奥多摩湖。



湖畔の「水と緑のふれあい館」



奥多摩湖に到着！皆さんお疲れ様でした。



満水の湖面。前方には小河内ダムが見えます。



熊坂しのクールダウン。感動のあまり全員で万歳(?)・・・(これは体操なのだ!)



「多摩川を歩く」シリーズ前半を終えて、ここまで毎回参加の11名には熊坂しからご褒美が!(中身は何?)



ここからは始発があるので全員揃って乗車。
(一人だけ駅まで歩く人が・・・誰だか分かりますね)



苦労した距離もバスなら20分ほどで奥多摩駅に到着。
※熊坂リーダー&参加の皆さんお疲れ様でした!

END